

区役所・鷺沼再開発 見直しニュースNo.3

宮前区役所存続と鷺沼駅前再開発
を考える会
080-6758-4252 猪俣
2021年2月5日発行

東急、経営見直しの検討 か。鷺沼見直しに 1 年半。

川崎市まちづくり委員会で「東急が1年から1年半の検討期間が必要」と判明。

2月4日川崎市議会まちづくり委員会が開かれ、東急（鷺沼駅前再開発準備組合）がコロナ危機に際して、見直し検討期間を1年～1年半必要と川崎市に申し入れたことが報告されました。

「会」と東急との1月14日の懇談で、緑を増やす、広場のスペースを増やす。結論を出すのに3ヶ月ほど必要とっていました。まちづくり委員会報告と「会」との話し合いでの東急の改善点は同じ内容でした。違ったのは見直し期間です。コロナ危機第4波の予想と一致する期間です。

見直し期間3ヶ月が1年半になったのは、コロナ危機で東急が経営全般を見直す必要に迫られたからです。テレワーク等でオフィスビルが必要なくなった電通や新宿三井ビル、NECやソニーなど大企業のオフィスビルが売りに出され、海外のファンドが買いあさっています。都心のオフィスビル需要の激変と空いたビルへの住宅転用と言う現象が起こっています。都心・渋谷に大量の空オフィスビルを抱え、田園都市沿線に大量の住宅ビルを造ろうとしている東急にとって重大な経営の変更に迫られています。鷺沼駅前再開発は全くの不透明です。監督者川崎市！しっかりしろです。

署名6000筆を超える！

1月末までに「宮前区役所存続と二つの市民館、図書館」の1万署名を取り組んでいましたが、2月4日現在、6000筆を超えて、まだ、まだ集まっています。集約・回収してみると各地域からの報告より実際の署名数の方が多という状況が続いています。一つの区でこれだけの署名が積み上がってきている運動はかつてないものと自画自賛しています。

郵便署名110通、約190筆を超える！

「会」の人たちの影響の薄い地域に撒いたビラ・署名を見て、「会」へ郵便署名を送ってくれる方は連日続いています。2月4日現在、110通、約190筆を超えました。署名は1人か夫婦2人が多いのですが、署名と激励のメモを付けて送ってくれます。110人以上の方が、84円切手を貼って、署名運動に参加してきています。背後には数千、数万人の強く熱い意志を感じます。